

# 経済産業省DXセレクション受賞企業一覧

「DXセレクション」とは



- 経産省が**中堅・中小企業等のDX優良事例を発掘・選定**する新たな取組。地域内あるいは業種内での横展開を図り、中堅・中小企業等におけるDX推進並びに各地域での取組の活性化につなげていくことを目的としている。
- 各地域でIoT推進に取り組む「**地方版IoT推進ラボ**」の**推薦企業等**から選定。

## DXセレクション2023

グランプリ 株式会社フジワラテクノアート（岡山県）

準グランプリ **グランド印刷株式会社（北九州市）**

準グランプリ 株式会社土屋合成（群馬県）

審査員特別賞 **有限会社ゼムケンサービス（北九州市）**

## DXセレクション2022

グランプリ 株式会社山本金属製作所（大阪府）

準グランプリ **株式会社リョーワ（北九州市）**

準グランプリ 株式会社日東電機製作所（群馬県）

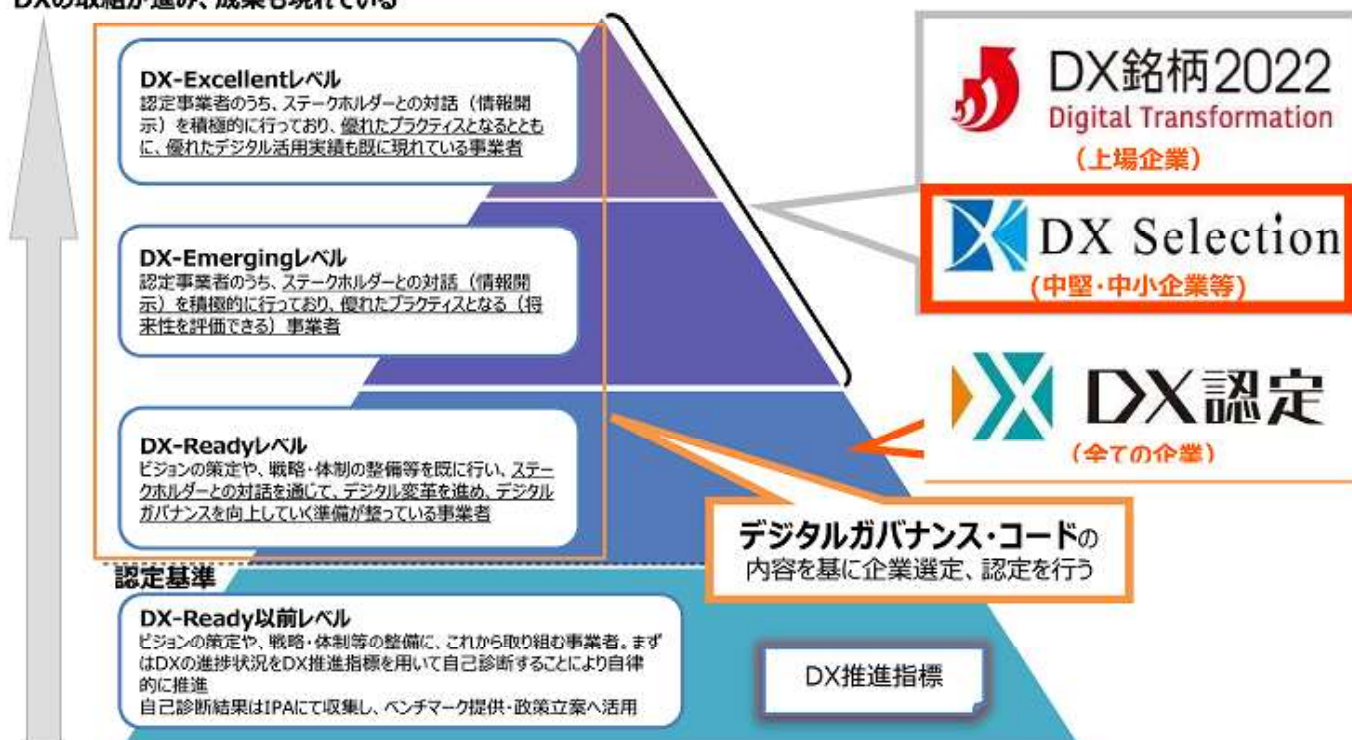
審査員特別賞 もりやま園株式会社（青森県）

## DX推進施策の体系化

「DXセレクション」概要資料、経産省作成

- 企業のDXレベルに合わせて、企業認定や優良企業選定などの施策を提供

DXの取組が進み、成果も現れている



未だDXに取り組めていない

準グランプリ

**グランド印刷株式会社（印刷業/福岡県北九州市）【法人番号】1290801005317**

<推薦> 北九州市IoT推進ラボ

【企業概要】 URL: <https://grand-in.co.jp/>

資本金：12,000千円

従業員数：55名

代表者：代表取締役 小泊 勇志



グランド印刷株式会社



【事業概要】

- シルクスクリーン印刷、デジタルプリントを主体とした印刷会社。金属、プラスチック、ビニール、布など素材を選ばず印刷できるのが特徴で、屋外看板や垂れ幕、POPなど販促物の製作を主力商品とする。

【企業理念】

- 新たな価値の創造で、世の中を楽しく、豊かにする。

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- シナジー効果の見込める各事業をデジタルによって1つに統合。それぞれの事業が互いに連携し、理念や価値観で繋がった「連邦多角化経営」を目指す。また、従業員の自己実現に向けて楽しく働ける職場環境と物心共の豊かさを追求する。

【デジタル人材の確保に向けた取組】【デジタル技術活用の取組】

- 社内業務の効率化・省力化や顧客視点でのサービス改善において、自ら問題を見つけ改善案の指示を出せる人材を「DXプロデューサー」と定義し、社内内で育成している。また、各従業員にあった「学び」を計画的に行っていくプロジェクトを立ち上げる。
- 自社開発のオリジナル基幹システムとWebサイトや各種Webサービスを連携させた社内ITシステムで情報共有している。

【成果】

- 年に2～3個の新規事業が立ち上がり、それらを育てながらデジタル技術によって既存業務の効率化・省力化を行う企業風土となった。また、子育てしながらも働きやすい会社となり女性従業員が全体の75%になった。
- コロナ禍でも年間7000社の顧客を獲得。既存事業の落ち込みを新事業でカバーし、過去最高売上を3年連続更新した。

7

わが社のDXのポイント

● DXを進める上での苦労

- 現社長がまだ支店長の立場だったときに基幹システムの開発に着手したが、リーマンショック後という事もあり、資金的な余裕もなく銀行からも融資は厳しいと伝えられていた。リース会社に話を持ち掛け、リース契約にすることで費用を捻出した。
- システム会社への月額12万円の保守料と開発費のリース料月額12万円、合計24万円の支出が必要であったが、一人分の人件費だと思い投資を決断した。開発から3年後にシステム会社が倒産するという危機も経験した。

● DXを進めるために行った工夫

- システムの管理を外注1社のみ、また社内担当者を1人のみという状態は非常にリスクがある事を身に染みて経験した為、現在は外部エンジニアと社内エンジニアの2人体制で開発を行っている。またサーバー情報も自社で管理し、日次でバックアップを取るようになっている。

● DXを進めたことによる具体的な変化

- 日々蓄積されるデータから新事業が次々とつくり出せるようになった。
- 社内ITシステムによりほとんどの情報が共有され、個人への依存度が減り、有休や途中抜けなどもし易くなり、子育て中の女性でも活躍できる場が広がった。
- 従業員のITリテラシーも高くなり、自ら問題を見つけてシステム改修案を提案し、エンジニアに依頼できるようになった。



8

審査員特別賞

有限会社ゼムケンサービス（特定建設業/福岡県北九州市）【法人番号】3290802003607

<推薦> 北九州市IoT推進ラボ

【企業概要】 URL: <https://www.zmken.co.jp/>

資本金：20,000千円

従業員数：9名

代表者：代表取締役 籠田 淳子



Zm'ken



【事業概要】

- 女性の生活者としての視点や細やかな感性を生かした設計力、そして顧客の価値を空間デザインに落とし込むブランディング力を武器に、「繁盛する場づくり」で実績を上げている従業員女性割合の多い建設会社

【企業理念】

- 「オモイをカタチに 建築は統合芸術」

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- 女性技術者・多能工育成の20年以上の実績を基にしたデジタルサービスを、今後は日本全国の中小建設業に広げ、地域をまわる建設業で多様な人材が働く「新しい建設産業」に向かわせる。女性技術者の人材育成、少しずつ取り組んできたデジタル化・DX、社員全員でITリテラシーを上げながら全社経営に向かう、という一連の仕組みをデジタルサービスにすることで、同社のような全国の地方中小建設業に取組を広げ、人を中心とした建設業界のDXが進化することを目指す。

【デジタル人材の確保に向けた取組】【デジタル技術活用の取組】

- 講師を招聘し、社員全員にDXに関する勉強会を実施。建設業においてどのような情報技術が今後有効なのかを考え、DXの土壌づくりをしている。また、自社内では全員にDXについての知識を身に付ける定期的な研修を行っている。
- コミュニケーションツールのデジタル化、データのクラウド共有、モバイル端末の支給等で、いつでもどこでも働ける環境を整備した。

【成果】

- SNSを活用した情報共有や社内稟議の仕組み作成、建設業界の1人あたり売上高平均を超える業績向上を実現した。

9

わが社のDXのポイント

● DXを進める上での苦労

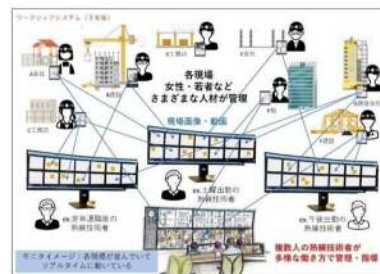
- （DXの取組活動）女性を建設業で育成し働き続けるためにデジタル活用は必須と考えていたが、社員のITリテラシーがばらばらで、ツールの活用やDXビジョンの理解の面で全社に浸透するまで時間がかかった。
- （協力者）新しい建設産業を目指すため業界のDXの構想は代表籠田の中では10年前からあったが、そのビジネスモデル構想や、理念ビジョンを理解できる協力者になかなか巡り合えなかった。研究開発要素があったため、システムベンダーでは費用的・技術的に難しく、産学連携では研究分野に対しビジネスモデルが広すぎた。

● DXを進めるために行った工夫

- （DXの取組活動）携帯メーリングリストやFacebookの秘密のグループでの日報報告の義務化、テレワークに全員で挑戦する、zoomを利用した昼礼を実施するなど、無料ツールを全員で利用することから取り組みはじめ、徐々に全員のITリテラシーを高めていった。また、月1回は代表から直接ビジョンを共有する場を設けるなど、建設業DXの必要性について理解を深めた。
- （協力者）大学へのアプローチや北九州市・FAISなどのネットワークを活用することで、早稲田大学・IPS吉江教授に協力いただけることになった。当社のDXビジョンを深く理解いただき、一緒に問題に取り組んでいただけるパートナーシップが築けた。

● DXを進めたことによる具体的な変化

- 子育て中、介護中、自身の体調など、様々な背景を持つ女性を中心に、若者も高齢者も建設業で働き続けることができワークライフバランスやワークシェアリングの仕組みが浸透。生産性が向上し、社員数は変わらず売り上げが4倍以上になり、女性8割にもかかわらず1人当たりの売上が大手ゼネコン含む業界平均を超えた。
- 建築設計・工事と別に、新事業として女性・若者のマイノリティ人材の人材育成サポート・ナレッジ共有のWEBシステムサービスの開発が進んでいる。



10



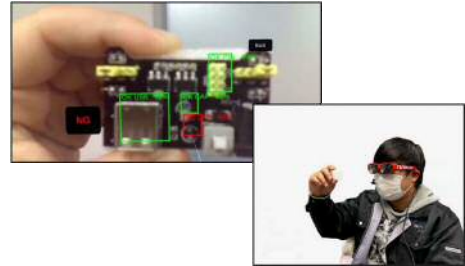
株式会社リョウワ（油圧装置メンテナンス業/福岡県北九州市）【法人番号】9290801015481

<推薦>  IoT Acceleration  
Kitakyushu city Lab



<企業概要>

当社は、油圧装置の販売・修理・メンテナンスを手掛け、来年で創業55年を迎えます。昨今の様々な外的要因による電気駆動式への置き換え需要に伴い、自社の強みを活かしてAI外観検査システム市場に参入しました。タイ大学内LABOと同時開発できる環境を整備するなど社内DXを進めながら、新システムの開発・販売で製造業の生産性向上に寄与してまいります。



<取組概要>

- 【デジタイゼーション】・開発環境の見える化(GitHubの活用で日本とタイのグローバル開発の効率化)
- 【デジタライゼーション】・新業務システム(見積・販売・給与・会計)導入によるデータ連携
  - ・外観検査システムのサブスクリプションによる販売
- 【DX】・自社オリジナルのクラウドAI外観検査システム[CLAVI®]の開発(スマホやMRでの部品検査)
  - ➡ 初期投資20万円、月2万円の低価格なクラウドAI検査システムのサービス提供
  - ・MRを活用した油圧装置の遠隔メンテナンスサービス(2022年度より実証実験開始予定)